

和地ひとみレポート No.36

平成24年 第1回定例会

議員1名、持ち時間100分。一般質問を充実した時間にしたい。

■本質的な議論を目指し

…H24年第1回定例会で、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

① 学校教育について

『総合的な学習の時間』と『キャリア教育』について、以下の点を質問

A:現状について

B:PDCA(plan-do-check-act)について

C:特に効果のあった取組について

D:今後の目標と課題について。また、民間の活用を検討しているかについて

② 介護予防事業について

A:これまでの取組状況と現状について

B:「東大和元気ゆうゆう体操」について

ア:考案期間と費用について

イ:現在の普及状況について

ウ:今後の課題について

…今定例会は和地ひとみにとって4回目。一般質問も4回目です。見るものすべてが新しい状態から、だいたい議会というものを理解してきた状態ですが、一般質問の答弁については、多くの時間を費やしているのに、なかなか本質的な議論ができないという感想を持っていました。そこで、今回は一般質問の再質問をする前に「不慣れな部分はあると思うが、真摯に、可能な限り率直に質問をさせて頂くので、双方のやり取りを本質的なものにした。一歩でも状況を進展できるような時間にしたい」「東大和市を良い方向に1歩でも進めたいという思いは共通だと思う。職員の皆さんが頑張っているということも承知しているが、良い結果に結びつかないことには悔しさも感じている。頑張っていることに質問をする際は本気で質問するのが礼儀だと思うので、本気で

質問をさせて頂く」と素直な思いを最初に伝えさせていただきました。



■議員1名の持ち時間は100分

…一般質問とは、質問を希望する議員が締切日までに、質問事項を通告書として提出したうえで実施されます。議員には100分間（質問と答弁合わせて）が与えられ、当市の場合には一定のルール（不適切な発言などの最低限のもの）さえ守れば、議員が自分らしさを発揮し、自由に使える時間となっています。

…議会というものは、全て議事録に記録されるものですので、各議員、それぞれのスタイルや思いのもと、一般質問を「与えられた権利」として活用します。

…一方で、行政側の答弁については、議事録に記録されること＝公式な発言となるので、非常に保守的な内容にとどまることがほとんどです。よって「検討します」「調査してみます」というような答弁が多くなり、問題の解決や事態の進展の糸口を発見するところまで議論する、答弁を引き出すといったことは困難な状況だと感じています。

…もちろん、議会は統制のとれた状態で、粛々と進められるべきものだと思います。しかし、多くの時間を費やし＝税金を使い、担当部署の部長、課長、参事等を拘束して開かれる議会は、市政にとって有効なものではないと考えます。

…より充実した内容の一般質問にするためには、議員の質問力も不可欠です。調査を行い、内容を吟味して行わなければならないと、毎回、痛感しています。

…次号では、今回の一般質問の内容をご報告させていただきます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0003 東大和市狭山2-864-3-202